

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公表番号】特表 2005-518929 (P2005-518929A)

【公表日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2005-025

【出願番号】特願 2003-572680 (P2003-572680)

【国際特許分類】

**B 0 1 J 29/85 (2006.01)**

**B 0 1 J 35/10 (2006.01)**

**B 0 1 J 37/03 (2006.01)**

**B 0 1 J 37/04 (2006.01)**

**B 0 1 J 37/08 (2006.01)**

**C 0 7 C 2/84 (2006.01)**

**C 0 7 C 11/04 (2006.01)**

**C 0 7 C 11/06 (2006.01)**

**C 0 7 B 61/00 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 J 29/85 Z

B 0 1 J 35/10 3 0 1 J

B 0 1 J 37/03 Z

B 0 1 J 37/04 1 0 1

B 0 1 J 37/08

C 0 7 C 2/84

C 0 7 C 11/04

C 0 7 C 11/06

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 7 日 (2006.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

分子篩、並びに少なくとも一つの、元素周期表 4 族から選ばれる金属の酸化物を含有する触媒組成物であり、前記金属酸化物が、1 0 0 において、少なくとも 0.03 mg / 金属酸化物  $m^2$  の、二酸化炭素の取り込みを有する、触媒組成物

【請求項 2】

活性な 4 族金属酸化物及び 2 族及び / 又は 3 族金属酸化物、バインダー、マトリックス物質及びシリコアルミノ燐酸塩分子篩を含有する分子篩触媒組成物。

【請求項 3】

分子篩を含有する第一の粒子を、4 族金属酸化物を含有し、1 0 0 において、少なくとも 0.03 mg / 金属酸化物粒子  $m^2$  の、二酸化炭素の取り込みを有する第二の粒子と、物理的に混合することを含む、触媒組成物を生成する方法。

【請求項 4】

分子篩、及び 1 0 0 において、少なくとも 0.03 mg / 金属酸化物  $m^2$  の、二酸化炭

素の取り込みを有する活性な 4 族金属酸化物を含有する触媒組成物の存在下で、供給原料を一つ以上のオレフィンに変換する方法。

【請求項 5】

分子篩、バインダー、マトリックス物質、並びにバインダー及びマトリックス物質とは異なる金属酸化物の混合物を含有する分子篩触媒組成物の存在下で、供給原料を一つ以上のオレフィンに変換する方法。